

# 2015(平成27)年度 予算のあらまし

2015(平成27)年度予算が3月19日の市議会において可決されました。

予算規模は、一般会計が1,359億2,000万円、特別会計が1,307億6,860万円、予算総額は2,666億8,860万円となっており、前年度の当初予算と比べ、103.5%、108.2%、105.8%となっています。

なお予算書は市民相談情報課、各市民センター・公民館・市民図書館でご覧になれます。また、市のホームページの財政課のページでもご覧になれます。

問い合わせ 財政課☎内線2302

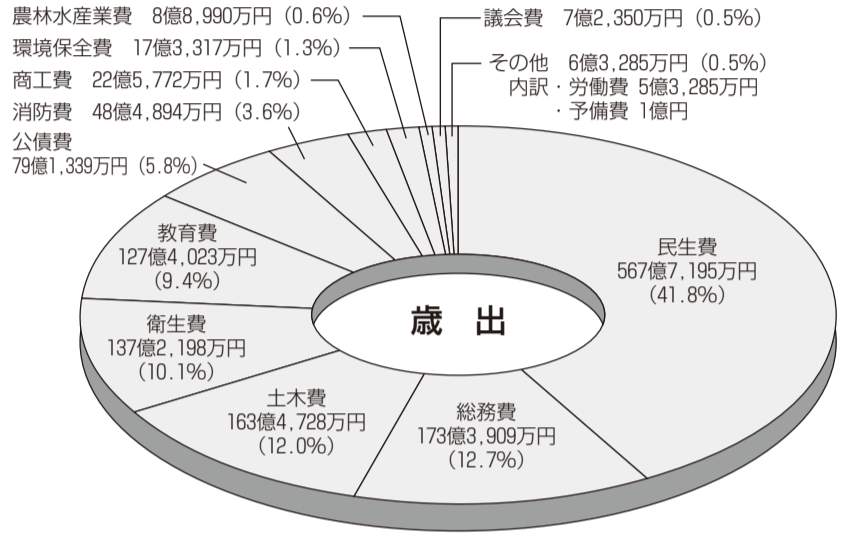
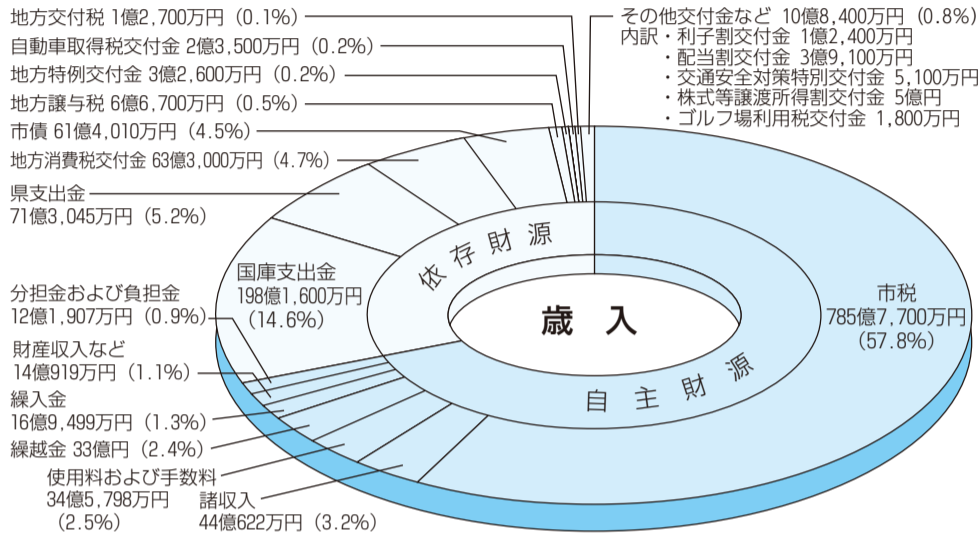
## 予算の規模

一般会計	1,359億2,000万円
特別会計	1,307億6,860万円
合計	2,666億8,860万円

## 一般会計

### 1,359億2,000万円

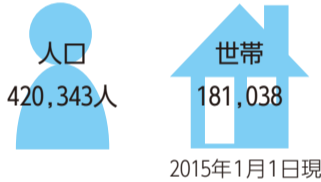
〔自主財源 940億6,445万円(69.2%)〕  
〔依存財源 418億5,555万円(30.8%)〕



※特別会計は、裏面に掲載しています

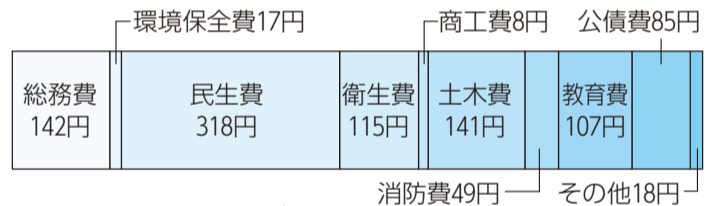
## 予算の使い道を見てみましょう

### 資料の基準

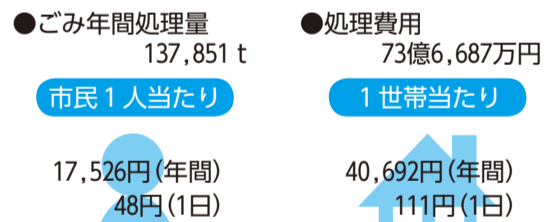


<b>議会費</b> 1人当たり…1,721円 1世帯当たり…3,997円 ●市議会の運営	<b>教育費</b> 1人当たり…30,309円 1世帯当たり…70,373円 ●小・中学校、調理場、体育施設、公民館、図書館、スポーツ施設の運営・整備
<b>総務費</b> 1人当たり…41,250円 1世帯当たり…95,776円 ●庁舎、市民センター、市民会館などの運営・整備 ●広報、税務、戸籍事務 ●防災	<b>公債費</b> 1人当たり…18,826円 1世帯当たり…43,711円 ●銀行などへの借入金に対する返済金
<b>環境保全費</b> 1人当たり…4,123円 1世帯当たり…9,574円 ●緑地の保全 ●水質汚濁など公害防止 ●交通安全活動、防犯対策	<b>その他</b> 1人当たり…238円 1世帯当たり…552円
<b>民生費</b> 1人当たり…135,061円 1世帯当たり…313,591円 ●高齢者・障がい者などの福祉・医療の充実●保育園の運営・整備●小児医療	<b>合計</b> 1人当たり…323,355円 1世帯当たり…750,782円 県下16市平均(横浜・川崎・相模原市を除く) 1人当たり…326,742円 1世帯当たり…789,816円
<b>農林水産業費</b> 1人当たり…2,117円 1世帯当たり…4,916円 ●農業・水産業の振興 ●地産地消の推進	<b>消防費</b> 1人当たり…11,536円 1世帯当たり…26,784円 ●消防・救急のための運営、施設整備
<b>衛生費</b> 1人当たり…32,645円 1世帯当たり…75,796円 ●健康増進、公衆衛生 ●保健所の運営 ●ごみの収集・処理	<b>労働費</b> 1人当たり…1,268円 1世帯当たり…2,943円 ●労働会館運営管理 ●就労支援事業
<b>商工費</b> 1人当たり…5,371円 1世帯当たり…12,471円 ●中小企業、商店街の振興 ●観光客誘客のための宣伝、観光施設運営	<b>土木費</b> 1人当たり…38,890円 1世帯当たり…90,298円 ●市営住宅、公園、道路、橋りょう、河川の整備・維持

### 市税1,000円当たりの使い道



### ごみの処理対策にいくら掛かる？



### 市民負担および収入の状況 (一般会計)

項目	1人当たり(円)	1世帯当たり(円)
自主財源		
市税	186,935	434,036
その他	36,845	85,548
依存財源		
国庫支出金	47,143	109,458
県支出金	16,963	39,386
市債	14,607	33,916
その他	20,862	48,438
合計	323,355	750,782

### 事業所税の使い道

道路維持費	7億8,982万円
土地区画整理費	3億1,523万円
小学校費・学校建設費	2億797万円
塵芥処理費	1億8,154万円
児童保育費	1億7,252万円
老人福祉費	1億2,000万円
下水道費	1億1,832万円
道路新設改良費	1億441万円
都市計画総務費	1億361万円
中学校費・学校建設費	1億340万円
体育施設費	4,896万円
学校給食管理費	4,661万円
橋りょう維持費	3,490万円
公園費	197万円
街路事業費	104万円
合計	23億5,030万円

### 都市計画税の使い道

下水道費	34億8,967万円
土地区画整理費	12億2,389万円
公債費	10億3,706万円
街路事業費	657万円
公園費	511万円
合計	57億6,230万円

### 入湯税の使い道

観光振興費	900万円
-------	-------

### 市税の状況 (一般会計)

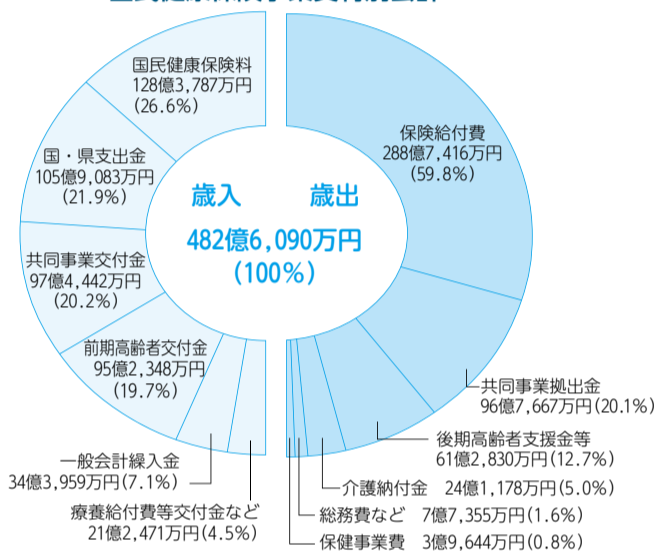
項目	予算額(千円)
市税	78,577,000
市民税	37,106,500
固定資産税	30,524,600
都市計画税	5,762,300
市たばこ税	2,491,000
事業所税	2,350,300
軽自動車税	332,400
入湯税	9,000
特別土地保有税	900

# 特別会計

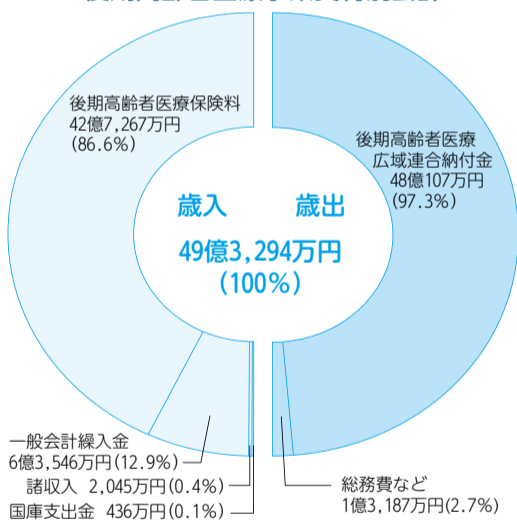
市の予算には、一般会計のほかに10の特別会計があります。下水道や病院などの事業は、特定の料金収入によって運営しています。この場合、一般会計と区別した特別会計のもとに予算を作り、それぞれ独立して事業を実施しています。

特別会計	国民健康保険事業費	482億6,090万円
	後期高齢者医療事業費	49億3,294万円
	介護保険事業費	246億1,688万円
	下水道事業費(公営企業会計)	225億7,802万円
	市民病院事業(公営企業会計)	264億1,592万円
	北部第二(三地区)土地区画整理事業費	19億4,116万円
	柄沢特定土地区画整理事業費	7億3,926万円
	墓園事業費	6億8,546万円
	競輪事業費	4億6,404万円
	湘南台駐車場事業費	1億3,402万円

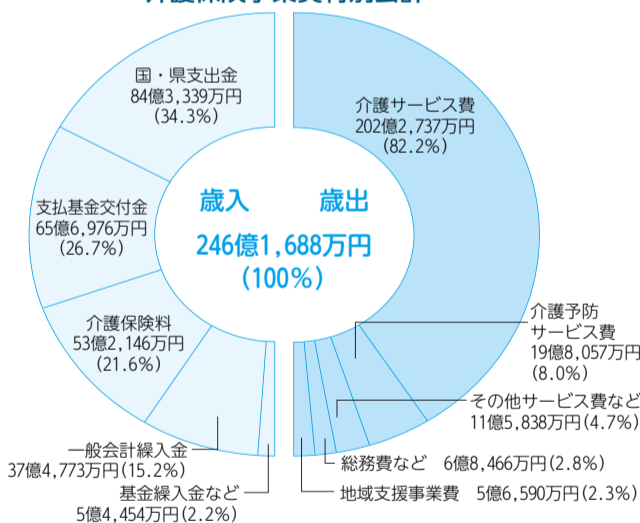
国民健康保険事業費特別会計



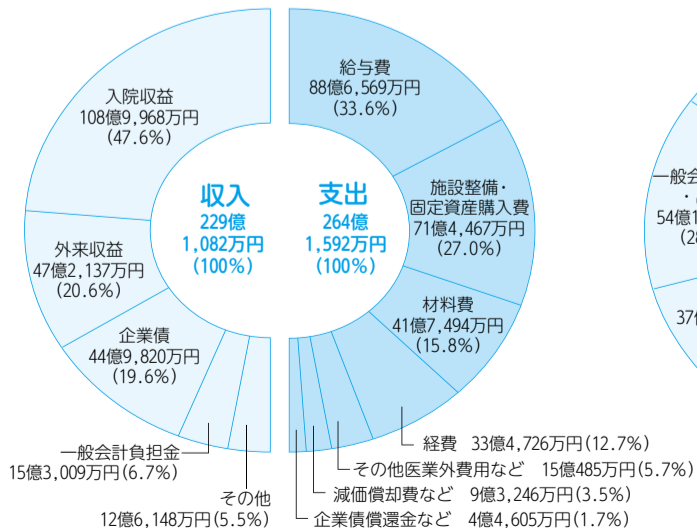
後期高齢者医療事業費特別会計



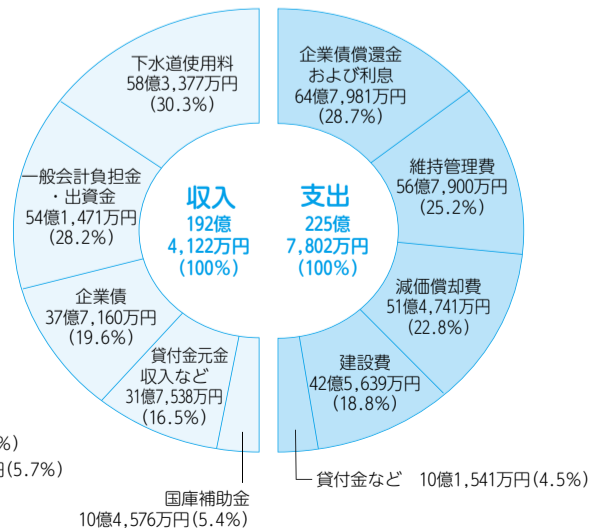
介護保険事業費特別会計



市民病院事業会計(公営企業会計)



下水道事業費特別会計(公営企業会計)



## 国民健康保険事業

市が運営する医療保険制度です。健康保険組合などの被用者保険とは別に運営しています。

歳入の主なものは、国民健康保険料128億3,787万円、国・県支出金105億9,083万円、一般会計からの繰入金34億3,959万円などです。

このうち国民健康保険料は、歳入総額の26.6%を見込んでいます。

歳出の主なものは、医療費などの保険給付費288億7,416万円、後期高齢者支援金等61億2,830万円、介護保険事業への納付金24億1,178万円です。

前年度の予算額に対して、全体で15.5%の増となります。

## 後期高齢者医療事業

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき神奈川県後期高齢者医療広域連合が運営する後期高齢者医療制度の窓口事務などを行います。

歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料42億7,267万円、一般会計からの繰入金6億3,546万円などです。

歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金48億107万円、歳出総額の97.3%を占めています。

## 介護保険事業

介護保険法に基づき、介護や支援が必要な高齢者などに、介護サービス費や介護予防サービス費などの給付事業を実施します。また介護や支援が必要な状態にならないよう、地域支援事業を実施します。

歳入の主なものは、介護保険料53億2,146万円、国・県支出金84億3,339万円、支払基金交付金65億6,976万円、一般会計からの繰入金37億4,773万円などです。

歳出の主なものは、介護サービス費や介護予防サービス費などの保険給付費233億6,632万円、地域支援事業費5億6,590万円などです。

前年度の予算額に対して全体で3.5%の増となります。

## 下水道事業

下水道事業は、都市基盤整備事業として、水洗化区域の拡大、浸水対策などを推進していくものです。2015年度末での下水道人口普及率(処理区域内人口÷行政人口)は、95.2%となる見込みです。

収入の主なものは、下水道使用料58億3,377万円、一般会計繰入金・出資金54億1,471万円、国庫補助金10億4,576万円、企業債(長期借入金)37億7,160万円などとなっています。

支出の主なものは下水道建設費42億5,639万円、企業債償還金等64億7,981万円、維持管理費56億7,900万円、減価償却費51億4,741万円などとなっています。

## 市民病院事業

市民病院は、1971年の開院以来、地域の医療機関と連携し、高度医療を担当する基幹病院として、その役割を担っています。

収入の主なものは、入院収益108億9,968万円、外来収益47億2,137万円、企業債44億9,820万円、一般会計繰入金15億3,009万円などとなっています。

支出の主なものは、給与費88億6,569万円、施設整備・固定資産購入費71億4,467万円、材料費41億7,494万円、施設整備・固定資産購入費71億4,467万円、材料費41億7,494万円などとなっています。

## 土地区画整理事業

快適に暮らせるまちづくりのための土地区画整理事業には北部第二(三地区)、柄沢特定土地区画整理事業の2会計があります。

- 北部第二(三地区)土地区画整理事業  
湘南台駅の北西約1.5kmに位置する面積275.2haの区域整備です(歳出総額19億4,116万円)
- 柄沢特定土地区画整理事業  
藤沢駅の北東約2kmに位置する面積49.6haの区域整備です(歳出総額7億3,926万円)

## その他の特別会計

- 墓園事業  
豊かな緑に囲まれた都市公園機能と心安まる墓地環境を兼ね備えた大庭台墓園を運営するために設置された特別会計です(歳出総額6億8,546万円)
- 競輪事業  
自転車競技法に基づき地方財政の健全化のために設置された特別会計です。2014年度で事業が終了したため、15年度は清算事務を行います(歳出総額4億6,404万円)
- 湘南台駐車場事業  
湘南台駅地下自動車駐車場整備のために借り入れた駐車場整備事業債の償還を行うために設置された特別会計です(歳出総額1億3,402万円)

※地方公営企業法が適用される会計として、市民病院事業と下水道事業の2つがあります。この公営企業会計では施設整備などの財源として、グラフに示した収入以外に減価償却などに伴い発生した資金を充てています